

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本体育大学医療専門学校
設置者名	学校法人日本体育大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配 置 困 難
柔道整復専門課程	整復健康学科	夜・通信	1,485時間	80時間×3年 240時間	
歯科衛生専門課程	口腔健康学科	夜・通信	1,272時間	80時間×3年 240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページに掲載（公表資料◆A）
情報公開
実務経験のある教員等による授業科目一覧
https://www.nittai-iryo.ac.jp/information_disclosure

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本体育大学医療専門学校
設置者名	学校法人日本体育大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人日本体育大学ホームページに掲載（公表資料◆B）
<https://www.gaku-nittai.ac.jp/corporation/organization/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私学アドバイザー	2025.6.6 ～ 2028.6.6	議決機関の参加 及び経営の助言等
非常勤	企業役員	2025.6.6 ～ 2028.6.6	議決機関の参加 及び経営の助言等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本体育大学医療専門学校
設置者名	学校法人日本体育大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

毎年度末、教務委員会で当年度の授業について検証し、次年度に向けて検討する。その結果を踏まえ、1~2月までに各担当教員と授業内容、教科書について話し合い、2~3月にて各担当教職員がシラバス(学内統一書式)を作成している。授業科目、開講時期、単位数、総時間数、担当教員名は職員が記載し、授業概要(授業のねらい)、授業計画、学習上の注意、評価方法、教科書・参考書、実務経験は各教員が記載する。全教員には、担当学年だけでなく、全学年のシラバスを配布している。全学年分を配布することで、関連性のある科目の授業内容を確認し、授業を進めることができとなっている。学生には4月に配布。また、WEBサイトにて公開している。

授業計画書の公表方法	本校ホームページに掲載(公表資料◆C) 授業計画(シラバス) https://www.nittai-iryo.ac.jp/information_disclosure
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学習成果の評価方法については、学則及び試験細則に基づき適切に評価している。
学則第22条 単位の計算方法

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1)講義・演習については15時間の授業をもって1単位とする。
- (2)整復健康学科の実技については30時間の授業をもって1単位とする。
- (3)整復健康学科の臨床実習については45時間をもって1単位とする。
- (4)口腔健康学科の実習、実技については30時間をもって1単位とする。
- (5)口腔健康学科の臨地実習については45時間をもって1単位とする。

試験細則第9条 試験の方法

試験は、主として筆記試験及び実技試験とする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則とは別に GPA 導入を規定し、成績評価として公表している。

全体としては各学年の学力レベルを知ることで、学生の理解度や指導方法に役立てている。その他、国家試験合格を目標とする学生個人に対する個別学習指導にも使用し、卒業時の表彰者選択にも活用している。

〈GPA の算出方法〉

履修登録した科目毎の 5 段階評価 (S・A・B・C・D) を 4.0 から 0.0 までの GP に置き換えて単位数を掛け、その総和である GPT を履修登録単位数の合計で割った平均点として算出する。

〈成績表と GP〉

合否	評価	評価点	GP
合格	S	100 点～90 点	4.0
	A	89 点～80 点	3.0
	B	79 点～70 点	2.0
	C	69 点～60 点	1.0
不合格	D	59 点以下	0.0
	履修中止	—	—

〈計算方法〉

GPA = (科目単位数×GP) の合計／履修登録科目単位数の合計

〈認定科目について〉

履修中止科目及び既修得単位認定科目について、認定と認められた科目は「認定」と表記され、GPA の評価の対象外とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法	本校ホームページに掲載 (公表資料◆D) 成績評価 (GPA 制度) について https://www.nittai-iryo.ac.jp/information_disclosure
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則一部抜粋

第 4 章 教育課程、単位取得、卒業、その他

(卒業)

第 29 条 校長は、本校に 3 年以上在学し履修科目の全てに合格した者について、教職員会議の議を経て、卒業を認定する。

学則は学生便覧として、全学生に配布するだけでなく、オリエンテーション時に担当者から説明を行うことで、卒業までの流れを周知徹底している。

2 月中の教職員会議にて卒業判定を行う。

卒業の認定に関する方針の公表方法	本校ホームページに掲載 (公表資料◆E) 進級・卒業判定について https://www.nittai-iryo.ac.jp/information_disclosure
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本体育大学医療専門学校
設置者名	学校法人日本体育大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法（公表資料◆F）
貸借対照表	6月中に最新の情報をホームページに公開している https://www.gaku-nittai.ac.jp/corporation/finance/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療		柔道整復専門課程	整復健康学科	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類	
		講義	演習	実習	実験
3年	昼のみ	153／単位	126／単位	4／単位	23／単位
		単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
135人		95人	0人	7人	16人
		総教員数			
		23人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）
カリキュラム以外に校外実習、勉強合宿を実施。習熟度を確認するため、小テストを実施している。講義科目だけでなく、実技科目についても補講を行う。期の途中には、担任による個別面談も実施し、必要に応じて保護者も交えた3者面談も実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	1人 (4%)	20人 (87%)	2人 (9%)
(主な就職、業界等) 接骨院、整形外科、介護保険施設			
(就職指導内容) 就職担当者と担任が主に対応し、合同就職説明会を実施 全学年を対象に外部企業による分野別説明会を実施し、業界についての理解を深める講義を実施 担任との面談による、個別就職相談実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 柔道整復師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
98人	18人	18.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更希望、環境不適応、学力不振等による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員の個人面談を実施、必要があれば保護者も同席する。 学生生活や修学等の相談を受け付けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療		歯科衛生 専門課程	口腔健康学科	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
3年	昼のみ	126／単位	72/単位	22/単位	32/単位
			単位時間／単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
120 人		86 人	0 人	3 (6月より4) 人	21 人
					24 (25) 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 習熟度を確認するため、小テストを実施している。講義科目だけでなく、実技科目についても補講を行う。担任による個別面談も実施し、必要に応じて保護者も交えた3者面談も実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>卒業者数</th> <th>進学者数</th> <th>就職者数 (自営業を含む。)</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 人 (100%)</td> <td>3 人 (13%)</td> <td>18 人 (78%)</td> <td>2 人 (9%)</td> </tr> </tbody> </table>	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	23 人 (100%)	3 人 (13%)	18 人 (78%)	2 人 (9%)
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他					
23 人 (100%)	3 人 (13%)	18 人 (78%)	2 人 (9%)					
(主な就職、業界等) 歯科医院								
(就職指導内容) 個人面談、歯科医院による学内ガイダンス、マナー・面接講座等を企画している。								
(主な学修成果 (資格・検定等)) 歯科衛生士								
(備考) (任意記載事項)								

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90 人	7 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、環境不適応、学力不振、心身の不調等による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員及び学科長、校長による面談を数回実施。 学生が高い意識で勉強に励めるよう相談を受け付けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
整復健康学科	250,000 円	1,000,000 円	310,000 円	
口腔健康学科	250,000 円	600,000 円	450,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
本校ホームページに掲載 (公表資料◆G) 情報公開 自己評価報告書 https://www.nittai-iryo.ac.jp/information_disclosure		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
同法人学校、卒業生、歯科医師などを含む学校関係者委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育活動、学校運営について評価を行っている。 評価内容は教職員会議で報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
治療院 院長	2024年9月1日～ 2025年8月31	卒業生
治療院 院長	2024年9月1日～ 2025年8月31	企業等
生理学博士	2024年9月1日～ 2025年8月31	非常勤講師
歯学博士	2024年9月1日～ 2025年8月31	非常勤講師
歯学博士	2024年9月1日～ 2025年8月31	非常勤講師

学校関係者評価結果の公表方法
本校ホームページに掲載（公表資料◆H） 情報公開 学校関係者評価報告書 https://www.nittai-iryo.ac.jp/information_disclosure
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

本校ホームページに掲載（公表資料◆I） https://www.nittai-iryo.ac.jp/
